

大念佛

No.81
発行／融通念佛宗
総本山 大念佛寺
大阪市平野区平野上町1-7-26
TEL.06-6791-0026

題字：融通念佛宗 管長 倍巖良舜

「万部おねり」は「二十五菩薩聖聚来迎会」と「阿弥陀経万部会」が融合した大念佛寺最大の伝統行事です。現在、大阪市の無形民俗文化財にも指定され

ています。平安時代の中頃、人々の間には極楽往生の願望が強く、命尽きるとき極楽浄土から阿弥陀仏が諸菩薩を従えて迎えに来ると



万部おねり

五月二日(火)～五日(土)

いう、臨終往生の有様を描いた来迎図が多く描かれました。そしてさらに菩薩の面や衣装を身につけて往生の実体験を試みる法要までに発展しました。これが「聖聚来迎会」です。

大念佛寺における「聖聚来迎会」の起源は、中興の第七世法明上人が最晩年の貞和五年(一三四九)當麻寺の練供養をうつして、戦乱で疲弊した人々に極楽浄土の仏様の世界を見せてあげたいと思い、自ら行者となつて二十五菩薩による来迎の儀式を始めたことによります。

また江戸時代の明和六年(一七六九)、第四十九世堯海上人のとき、阿弥陀経を一万部読誦して檀信徒と有縁無縁諸霊の追善回向をするようになり、こうして現在の「万部おねり」として親しまれるようになりました。

大慈悲心をもってどんな災難からも衆生を救済するという「観世音菩薩」を先頭に二十五菩薩が現れ、僧侶達の声明と雅楽の調べのなか、荘厳な聖聚来迎が目の当たりに繰り広げられます。

また、本堂内陣では菩薩が御本尊にお華をお供えする菩薩伝供式が荘厳に執り行われます。

期間中様々な行事やイベントもあります。お越し頂いてよき仏縁を結ばれますようお願いいたします。

MBSラジオ 万部公開収録

五月二日 十時半より
本堂 特設舞台にて

今年も万部初日には、笑い飯の哲夫さんによるラジオの収録が行われます。

哲夫さんはお笑いの第一線で活躍なされているうえに、教への造詣も深い方です。昨年の収録では、仏教について、大念佛寺と万部おねりについて、身近な題材をとりあげ、明るく楽しくお話し下さいました。大変盛り上がった昨年続き、今年はどうなるお話しとなりますでしょうか。どなたさまも、ぜひ本堂の公開収録へお越しください。

なお、収録されました番組は万部終了後に、



MBSラジオ(1179kHz)で五月七日の十九時～二十時のマンデースペシャルのコーナーで放送される予定です。

講談 歌う。講談師

旭堂さくら (歌手 川本 三栄子)

五月二日 十一時半より

旭堂さくらさんは「歌う。講談師」として講談師だけでなく、

歌手、浪曲師、講演と幅広い芸能活動を展開されています。また、

檀原市観光大使、王寺町観光大使、奈良県立美術館広報大使として奈良のPR活動にも尽力されています。



今回は旭堂さんのオリジナル講談、宗祖良忍上人の一代記を分かりやすく表現した「大原の月々良忍上人の異聞」を口演されます。阿弥陀如来から授かった融通念仏のお告げを広めようと勸進された良忍上人を思い浮かべて頂けるかと思

います。また、講談と共に歌謡も予定しております。皆さまどうぞ楽しいひと時をお過ごしください。



八島町 六斎念仏鉦講

万部法要には、東安堵大寶寺六斎講と八島町六斎念仏鉦講の二つの講が念仏を奉納されます。融通念仏の古くからの様式を伝えており、どちらとも奈良県の無形民俗文化財に指定されています。

六斎念仏奉納

五月三日 十時より
五月五日 十時半より

東安堵 大寶寺 六斎講
八島町 六斎念仏鉦講

六斎念仏は「鉦」や「太鼓」でリズムをとりながら、節をつけて「なむあみだぶつ」と唱え続ける念仏です。もともとは月に六つある斎日(いみび)に唱えられた念仏で六斎念仏といいますが、現在はお盆やお盆や葬儀などで行われています。

詠讃歌は、融通教会が数々の詠歌や和讃を「魚山流詠讃」として



作詩作曲されたものです。奉納される詠讃歌舞は、昭和の終戦で荒廃した世の中に「心に光明を」と、昭和二十五年、魚山流詠讃歌舞家元武田花風師により万部和讃に振り付けられました。晴れやかな和讃と華麗な渡御は五月晴れの万部法要に欠かすことができません。

魚山流 詠讃歌舞奉納

融通教会

五月二、三、四日 十二時より
五月二、五日 十一時より

万部法要のイベント

仏教讃歌奉納

融通念佛宗聖歌隊

五月三日 十時半より
五月四日 十時より

聖歌隊は、大阪芸術大学講師の河田早紀先生とピアニストの永橋寿美代先生に月二回指導していただいています。忙しい日常の中で

雅のハーモニー 楽融会

五月四日 十一時より

楽融会は本宗の僧侶で構成された雅楽団体であります。菩薩おねりの莊嚴を目的に奏楽していますが、その他期間中に演奏をしています。西洋の音楽とは違った、雅な和の調べを体で感じ取っていただければ幸いです。

第一部【管弦】 盤渉調音取 蘇莫者
第二部【舞楽】 振鉦 迦陵頻 萬歳楽
管弦は曲のみで舞楽は舞物です。
迦陵頻は童子舞です。

迦陵頻

融通声明コンサート

融通声明と北インドの古典音楽

融通声明研究会

五月三日 十一時より

タブラ演奏者の池田絢子さんをお招きして、北インドの古典音楽とのコラボです。タブラは北インドの太鼓で、演奏が難しい楽器といわれています。池田さんは打楽器やタブラをいろんな演奏家から学び、現在ではジャンルを超えて多くのミュージシャンと共演されています。NHK Eテレ「ムジカ・ピッコリーノ」にも出演されました。

池田絢子さん

今回は、タブラの他、インドの横笛バインスリー、弦楽器シタールの演奏も加わります。仏教の聖地であるインドの東洋的な音色をお楽しみ下さい。

物産店など

瑞祥閣前大テント

- 道の駅(へぐりくまがしステーション) 物産店
- 亀乃饅頭(福本商店)
- 梅月堂(大念佛寺御用達和菓子)
- 赤膚焼 (窯元大塩昭山)
- 高山茶筌 (久保透商店)

ぬりえ展示と菩薩根付販売

融通念佛宗青年会

毎年恒例の万部法要ぬりえ会場(無料休憩所)にて今年も華やかなぼさつさま、皆様の願いをお待ちしております。今年「陀羅尼菩薩」が新しく登場されます。小さなお子様からご年配の方まで沢山の方々にぼさつさまを色とりどりに着飾って頂き、皆様の願いを込めたぬりえを展示致します。後日、青年会僧侶が心を込めて祈願法要を行います。

尚、ぬりえの用紙は大念佛寺本堂事務所にございます。

青年会一同、菩薩様のおちからにより皆様の幸せを心から祈念しております。

青年会物品販売場所
○無料休憩所
○本堂売店
融通念佛宗青年会 片井 順香

世界平和祈願護摩供養

平野五流講

五月五日 十一時半より 本堂北側

護摩とは供物(護摩木・五穀など)を炎に投じて神仏に供養する修法のことです。火の龍王が煙とともに供物を仏さまに届けて願い事かなえるといわれます。護摩の浄火を受けることは厄難や星回りの災いを避け、願ひ事の成就だけでなく、煩惱を焼き尽くし自己を浄化させるのです。是非、お参り下さい。

管長就任法要



就任奉告法要の様子

先の二月七日、大念佛寺の本堂で管長の就任法要が厳修されました。倍厳良舜猯下は九十を越えるお歳

ですが、周りの強い声もあり四期目も務められることになりました。「融通念佛宗は日本の伝統仏教十三宗の一つであり、伝灯と教義をひろめ、そして念仏の輪をひろげるために全国を見据えて東京別院などを考えてもよいように思います。体力のゆるす限り、尽くしていきたい。」とお言葉をいただきました。そして猯下の優しい眼差しのなかにも力強いお気持ちを感じました。

紫金職任命



篠塚良節師

平成三十年度紫金職に篠塚良節師（第五教区 西方寺前任職）が任命されました。任期は二月一日からの一年間となり、総本山の主要な法要である三祖御忌法要や万部法要などにおいて管長猯下の前座導師を勤められます。

篠塚師は昭和十六年総本山にほど近い大融寺の次男として誕生、昭和二十四年に入衆、昭和四十五年には枚方市中宮 西方寺の住職に就任されました。また、高校教諭として永きに渡って務められ、教え子の中には有名芸能人もいらっしやるのだとか。

大阪を代表する四天王寺は、今を去る一千四百年程前に聖徳太子によって建立されました。爾来、大坂の多くの人々から篤い信仰を寄せられてきました。この四天王寺は融通念佛宗にとっては古くから深交がありました。その最初は元祖良忍上人が、大治二年（一一二七）諸国遊行のかたわら、四天王寺に詣でて一宿する際、聖徳太子から夢で「ここ四天王寺より東南杭全の里に念仏道場を建つべし」とのお告げを賜わり、当地の修業寺において念仏勧進をなされると多くの道俗信者が集まりました。



四天王寺 西門

このことを鳥羽上皇がお聞きになり、上皇から太子が申された場所に一字の道場を建てよとの勅願を賜わり、建てられたのが、現在の融通念佛宗の総本山の大念佛寺であります。

世道和上人から融通念佛会を修めるように勧められました。このことから法会が四天王寺に託されるようになり、徳川家の寿命長遠・天下泰平を四天王寺で代々願うようになりました。この祈禱会は毎年九月から十二月に四天王寺の金堂において十二座の舍利供養として行われたといわれます。

融通大念仏紀行 四天王寺

教学部長 濱田 全真

て厳修される「時正会」があります。この法要は「融通大念仏会」ともいわれ御本尊天得如来をお掛かりし、読経が終わると参詣者一人一人の背中に御本尊を当て無病息災を願う「お頂戴」があります。



四天王寺 阿弥陀堂



総本山本堂 屋根改修にあたり 瓦勧進のお願い

総本山 大念佛寺の本堂は昭和十三年に竣工以来、八十年の長い年月を刻み、その間本堂大屋根は風雨に曝され続け、近年は酸性雨や鳩糞による腐敗等でより劣化が進み、各所で雨漏りが散見されるようになりました。

明治の融通念佛行者、明意上人は、文久三年（一八六三）焼失した聖徳太子を祀る太子殿の再建に従事されたが、再建途中に死去されました。

辞世

ありがたや今は別れに太子殿のこしおくこそ弥陀のみやげに

平成30年 万部法要 日程・時間表 (於:本堂)

日程	5月1日(火)	5月2日(水)	5月3日(木) 憲法記念日	5月4日(金) みどりの日	5月5日(土) こどもの日
6時30分	朝のおつとめ				
9時30分	おつとめ 阿弥陀経 読誦				
10時		大念佛寺奉賛会 祈願法要	仏教讃歌奉納	仏教讃歌奉納	八島町六斎念佛誦講
10時30分	ラジオ公開収録 MBSラジオ	東安堵大寶寺 六斎念佛講	融通声明 コンサート	雅のハーモニー 雅楽演奏	魚山流詠讃歌舞奉納
11時	「笑い飯哲夫の 明るく元気な 大念佛寺」	魚山流詠讃歌舞奉納	融通声明と タブラ演奏		魚山流詠讃歌舞奉納
11時30分		旭堂さくら (川本三栄子) 講談と歌謡			世界平和祈願 護摩供養 境内北側
12時	魚山流詠讃歌舞奉納		魚山流詠讃歌舞奉納	魚山流詠讃歌舞奉納	
12時30分	布教 川中 恒明 師	布教 吉村 暲英 師	布教 福井 邦典 師	布教 磯田 良孝 師	布教 澤田 善秀 師
1時	お稚児さん・詠讃歌舞・禅門講・諸講元のお渡り 二十五菩薩のおねり・万部輿入御(ねりこみ) 菩薩による伝供 阿弥陀経読誦 紫金職お作法 供 養 楽 万部結縁回向 阿弥陀経読誦 管長猊下 内外十念 二十五菩薩のおねり 還御(ねりかえし)				
3時	来迎橋	本堂内	来迎橋		
4時					

※各種奉納行事の内容・時間については、変更する場合がございます。
○万部法要中は駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用下さい。

お稚児さん募集

お子さまには、お稚児さんの衣装を着て、まんぶの菩薩来迎橋を歩いていただけます。たくさんのお参りの方に見守られ、ほげさまを身近に感じられるすばらしい渡御となることでしょう。菩薩様との記念撮影も大変貴重な経験となります。

■日程 五月一日〜五日

■費用 お一人 五千元(一日)

申し込み 大念仏佛寺宗務所まで

☎〇六一六七九一〇〇二六

※白足袋か白靴下をご用意ください。

※当日の申し込みは午前十一時まで受け付けております。



勧進のご案内

◎塔婆回向

本堂にて受付(十時から十五時まで)
○万部中常回向(五日間) 五千元

※万部終了後であっても五日間回向致します。

○当日回向 (一日) 三千元

◎各種勧進

○巻線香(御本尊用) 五百円

○本堂正面用口ソク 二千元

○脇壇用口ソク 一千元

○本堂大屋根 瓦勧進 二千元

お寺で夏休み!

「子ども寺子屋体験修行」

主催 融通念佛宗別時念仏会の会

開校案内 七月三十一日(火)十二時開校

八月一日(水)十六時解散予定

集合場所 総本山大念佛寺

修行道場 本堂正面縁側 集合受付

西念寺 奈良県天理市福住町七一四六

(お寺は変更になる場合があります。)

集合場所より観光大型バスで移動

(移動時間約四十分)

参加費 七、五〇〇円(保険料五百円を含む)

対象学年 小学校一年生〜中学校三年生

定員 先着二十五名

内容 念仏修行、和太鼓体験、写経、仏教のお話、作務(お掃除)

自然散策、紙芝居・その他詳しい持ち物、

行程は申込者に

後日郵送いたします。

お問い合わせ・

申し込み受付

西方寺 安岡 良剛

☎〇七二二三三二一五八二

詳しくはホームページを

ご参照ください。

HP <http://www.kodonotaiken.webcrow.jp/index.html>



◎万部結縁回向

万部輿に納めた万部経に霊名を記し、管長

猊下によって永代に渡って回向されます。

伝統あるこの法会

に、よきご縁を結ん

でいただきましたお勧

め申し上げます

永代回向料

一霊 一〇万円

申込受付(宗務所)



御朱印のすすめ

オリジナル御朱印帳大好評発売中

万部おねりの菩薩様をモチーフとしてかわいらしいデザインに仕上がりました。

本堂売店にて千五百円で販売を開始しており、好評をいただいております。大念佛寺へ参詣の折にはぜひ手に取っていただき、ご集印の旅のお供にされてはいかがですか?



しょう 小 径 けい

新緑の美しい季節となりました。この時期に新しい環境や物事を始められる方が多いのではないのでしょうか。

最近、「マインドフルネス」「セルフコントロール」という言葉を耳にすることがあります。今の傾向として身体の健康だけでなく心の問題にも強い関心をしめされているようです。一部の企業では、朝や昼休みに瞑想やヨガをとりいれたりしているそうです。

私自身も半年前から、ヨガ教室に通い始めています。きっかけは慢性的腰痛とお釈迦様自身もヨガをされていた事からです。最初の頃はポーズばかりに気をとられていました。そしてすこし日にちもたち慣れてきたころに、ヨガをもっと知りたくなり、お釈迦様が説かれた『入出息念経』の事が書かれた本に出会いました。そこにはヨガには呼吸を意識することが一番大事であると書かれていました。そこからは息を吸うこと吐く事に意識していくと、身体の伸びの変化と心の爽快感をいつも以上に感じる事ができました。その本には日常でも動作に合わせて呼吸をし、集中することが心の安らぎをもたらすことができると書かれています。

常日頃から呼吸を意識して、心も身体も新緑のように生き生きとしたものです。

光雲